



安全データシート

ノロウイルス検出キット
作成：2013年8月27日
修正：2020年4月1日
整理番号：1415A

1. 製品及び会社情報

製品の名称	ノロウイルス検出キット
製品コード	FIK-201, 202, 203
会社名	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	PCR実験用の前処理液、懸濁液、反応液、酵素液、プライマー液(研究用試薬)

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性

有害性

反応液、酵素液には、皮膚刺激性、眼刺激性のあるグリセロールが含まれる。危険有害性の調査が十分でなく、取扱に注意する。

物理的及び化学的危険性
特有の危険有害性
GHS分類

常温では特に危険性はな
特になし

物理化学的危険性
人健康有害性

引火性液体
皮膚腐食性・刺激性
眼損傷・眼刺激性

懸濁液	前処理液	反応液
区分外	区分外	区分外
分類できない	区分外	分類できない
分類できない	区分外	区分2B
分類できない	区分外	分類できない
酵素液	プライマー液	EvaGreen® dye (10X)

環境有害性

物理化学的危険性
人健康有害性

引火性液体
皮膚腐食性・刺激性
眼損傷・眼刺激性

区分外	区分外	区分外
分類できない	分類できない	分類できない
区分2B	分類できない	分類できない
分類できない	分類できない	分類できない

環境有害性
ラベル要素

反応液
酵素液

絵表示又はシンボル：

-

注意喚起語：

警告

危険有害性情報：

眼への刺激

注意書き：

取り扱い後は手をよく洗う。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用して
いて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する
場合は医師の診断、手当てを受ける。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	CAS No. (EC No.)
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	
懸濁液	糖質分解酵素	-
	クエン酸二水素ナトリウム	18996-35-5
前処理液	グリコールエーテルジアミン四酢酸	67-42-5
	水酸化ナトリウム	1310-73-2
反応液	トリス (ヒドロキシメチル) アミノメタン	77-86-1
	デオキシアデノシン三リン酸ナトリウム	1927-31-7
	デオキシシチジン三リン酸ナトリウム	102783-51-7
	デオキシグアノシン三リン酸ナトリウム	93919-41-6
	デオキシウリジン三リン酸	102814-08-4
	グリセロール	56-81-5
	硫酸マグネシウム	7487-88-9
酵素液	ポリ (オキシエチレン) =ノニルフェニル=エーテル	9016-45-9
	DNAポリメラーゼ	(EC 2.7.7.7)
	リバーストランスクリプターゼ	9068-38-6
	リボヌクレアーゼ阻害剤	-
	トリス (ヒドロキシメチル) アミノメタン	77-86-1
	塩化カリウム	7447-40-7
	ウラシルDNAグリコシラーゼ	59088-21-0
	グリセロール	56-81-5
	ジチオスレイトール	3483-12-3
	ポリ (オキシエチレン) =ノニルフェニル=エーテル	9016-45-9
	ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート	9005-64-5
プライマー液	トリス (ヒドロキシメチル) アミノメタン	77-86-1
	DNA (プライマー)	-
	EvaGreen® dye, 10X in Water	-
	EvaGreen® dye	-

危険有害成分

化学名又は一般名

グリセロール

ポリ (オキシエチレン) =ノニルフェニル=エーテル

別名

グリセリン

ノニデット P-40

含まれるパーツと含有量

反応液 : 5~20%
酵素液 : 50%

酵素液 : 0.2%以下

化学特性 (化学式)

$\text{CH}_2\text{OHCHOHCH}_2\text{OH}$

$\text{HO}(\text{C}_2\text{H}_4\text{O})_n\text{-C}_6\text{H}_4\text{-C}_9\text{H}_{19}$

CAS番号

56-81-5

9016-45-9

官報公示整理番号 化審法 : 安衛法 :

2-242

7-172

公表

公表

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受け多量の水で十分洗い流す。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

意識のある場合には、水で口の中を洗浄し、速やかに医師の手当てを受ける。無理に吐かせない。意識のない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置

消火剤

水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

消火を行う者の保護

消火は風上から行う。

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
環境に対する注意事項
除去方法

眼、皮膚への接触、吸入を避ける。
環境中へは直接廃棄しない。

可能な限り、砂または他の不燃性吸着剤に吸着させて空容器に回収する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

注意事項

安全取扱い注意事項

保管

適切な保管条件

安全な容器包装材料

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は手を充分洗浄する。

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

密封容器にて-20℃±5℃で保管する。

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具

呼吸器の保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、防毒マスク又は簡易防毒マスクを着用する。

ゴム手袋を着用する。

保護眼鏡を着用する。

必要に応じて保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色

臭い

pH

引火点

爆発特性

密度

溶解性

懸濁液、前処理液、反応液、酵素液、プライマー液は-20℃以下で固体。常温で液体。無色透明。EvaGreen® dye, 10X in Waterは-20℃以下で固体。常温で液体。黄色から橙色。

全てのパーツで臭いはほとんどない。

4.2~10.5

水溶液のため引火性はないと考えられるが、反応液、酵素液は水分蒸発後177℃の引火点を持つグリセロールが残留する。

常温では爆発性はない。

データなし

水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性

避けるべき条件

危険有害な分解生成物

-20℃で安定

通常の条件下では安定である。

高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤

知見なし

1 1. 有害性情報

急性毒性	データなし	
局所効果	眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。	
各成分の有害性情報	グリセロール	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル＝エーテル
急性毒性(LD50)	マウス経口： 4090mg/kg ラット経口： 12.6g/kg	マウス経口： 3500mg/kg ラット経口： 4190mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	ウサギ：500mg/24hr:Mild	CERI・NITE有害性評価書No.96(2004)のウサギを用いた皮膚刺激性試験の記述に、エチレンオキシドの付加モル数2～9の場合の原液が「中程度から強度の刺激性を示した」との報告がある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギ：500mg/24hr:Mild	CERI・NITE有害性評価書No.96(2004)のウサギを用いた眼刺激性試験の記述に、エチレンオキシドの付加モル数2～15の場合の原液が「中程度から強度の刺激性を示した」との報告がある。
生殖毒性	知見なし	CERI・NITE初有害性評価書No.96(2004)、NITE初期リスク評価書No.96(2005)の記述から、親動物の一般毒性に関する記述はないが、妊娠率や胚数の減少がみられる報告がある。
発癌性	日本産業衛生学会 IARC ACGIH	記載なし 記載なし 記載なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	グリセロール	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル＝エーテル
	ニジマス：LC50(96hr) 54g/L 金魚：LC50(24hr) >5g/L オオミジンコ ：EC50(24hr) >10g/L 紅藻：EC50(28hr) 4.6g/L	ブラウンマス：LC50(96hr) 1.0mg/L (CERI・NITE有害性評価書、2005) ミシッドシュリンプ：LC50(48hr)=0.11mg/L (CERI・NITE有害性評価書、2005)
残留性・分解性	グリセロールや酵素、基質などは生分解性。ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル＝エーテルは易分解性ではない。	
生体蓄積性	生体蓄積性はないと考えられる	
土壤中の移動性	水に対する溶解性は高いので、移動すると考えられる。	

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	珪藻土、活性炭等に吸収させるか、他の可燃性溶剤で希釈し焼却炉で少しずつ焼却する。
汚染容器・包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国内規制(国際規制)	輸送に関する法規制には該当しない。
国連分類・番号	国連勧告の定義上の危険物には該当しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場の安全サイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

NITE：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。